令和7年山武市教育委員会会議第4回定例会会議録

1. 日 時 令和7年4月17日（木）午後2時00分開会
2. 場 所 教育委員会会議室
3. 招集者 山武市教育委員会 教育長 内田 淳一
4. 議 題

議決事項

- 議案第1号 山武市立日向小学校学校運営協議会委員の任命について
- 議案第2号 山武市立睦岡小学校学校運営協議会委員の任命について
- 議案第3号 山武市立山武北小学校学校運営協議会委員の任命について
- 議案第4号 山武市立松尾小学校学校運営協議会委員の任命について
- 議案第5号 山武市立山武中学校学校運営協議会委員の任命について
- 議案第6号 山武市立山武望洋中学校学校運営協議会委員の任命について
- 議案第7号 山武市社会教育委員の委嘱について
- 議案第8号 山武市スポーツ推進審議会委員の任命について
- 議案第9号 山武市文化会館運営協議会委員の委嘱について
- 議案第10号 山武市図書館協議会委員の任命について

協議事項

- 協議第1号 山武市立図書館規模適正化計画について

報告事項

- 報告第1号 代理の報告について（山武市子どもの居場所づくり事業実施要綱の制定について）
- 報告第2号 代理の報告について（学校歯科医の委嘱について）
- 報告第3号 代理の報告について（山武市いじめ問題対策連絡協議会委員及び山武市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について）
- 報告第4号 代理の報告について（山武市学校評議員の委嘱について）
- 報告第5号 令和7年度第2期山武市教育振興基本計画に係る実施計画について
- 報告第6号 令和7年度園児・児童・生徒数について
- 報告第7号 令和7年度山武市小中学校少人数指導講師・心の教室相談員・支援員の配置について
- 報告第8号 令和7年度東上総教育事務所の学校訪問について
- 報告第9号 令和7年5月の行事予定について

出席委員	教育長	内田 淳一
	教育長職務代理者	木島 弘喜
	委員	北田 昭雄
	委員	鈴木 智子
	委員	相葉 英樹
	委員	伊藤 範子

出席した職員の職及び氏名

教育部長	今関 正典
教育総務課長	坂本 あゆみ
子ども教育課長	高橋 和雄
子ども教育課指導室長	藤田 幸之介
施設整備課長	高山 義則
生涯学習課長	渡辺 幹夫
スポーツ振興課長	松本 清
給食センター所長	土屋 雅美
公民館長	伊藤 祥一
文化会館長	平山 孝昭
図書館長	大石 由香
歴史民俗資料館長	稲見 英輔
運動公園管理事務所長	鈴木 慎太郎

事務局

教育総務課総務企画係長	山倉 郁生
教育総務課総務企画係主任主事	市東 和洋
教育総務課総務企画係主事補	庄司 敦美

◎開 会 午後2時00分

教育長 それでは、委員の皆様、御苦労さまでございます。先週の入学式、入園式の御参加ありがとうございました。小・中学校でも新学期がスタートし、子供たちのにぎやかな声が戻ってまいりました。

それでは、ただいまから山武市教育委員会議令和7年第4回の定例会を開会いたします。

◎日程第1 会議録署名人の指名

教育長 日程第1、会議録署名人の指名を行います。
今回は伊藤委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

伊藤委員 はい。

◎日程第2 会議録の承認

教育長 次に、日程第2、会議録の承認です。
令和7年第3回定例会の会議録を事前に配付させていただきましたが、異議ありませんでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

教育長 異議がないようですので、承認といたします。

◎日程第3 教育長報告

教育長 続いて、日程第3、教育長報告です。資料の1ページになります。主なもののみ説明をいたします。

3月21日、千葉県生涯学習審議会子どもの読書部会推進部会が開催され、私が委員として参加をいたしました。今回は県の次期子どもの読書推進計画策定に向けた子供の意見聴取の結果と計画素案について話合いを持ちました。

同じく3月21日、外国にルーツを持つ児童・生徒に対する日本語指導について、千葉大学が日向小学校で取り組んだ結果の報告会が市保健センターで開催されました。市内小・中学校の教職員が参加し、情報交換を行いました。

また、翌3月22日には、スリランカとの国際交流に関するイベントが文化会館の視聴覚室で開催され、多くの市民が参加をいたしました。スリランカの歌手の方が歌を披露したり、大学の研究報告等があったりと、にぎやかなイベントとなりました。

3月24日、山武地区教育長協議会の総会が東金市で開催され、令和6年度の事業報告と7年度の予定について話し合いを持ちました。

同じく3月24日、広域行政組合の教育委員会会議が開催されました。視聴覚教材センター、教育相談センターの令和6年度の活動について報告があり、今後の方向性等について協議をいたしました。

3月30日、成東総合運動公園サッカー場で、元サッカー日本代表の太田宏介さんを中心とするジョガスポートカレッジが主催をして、サッカー教室が開催されました。市サッカー協会に協力をしていただき、昨年同様、大勢の小学生が無料で参加しまして、元プロサッカー選手と試合を行ったり、トレーニング方法を教わったりということで、楽しいサッカーイベントとなりました。

3月31日、市の退職者等辞令交付式及び離任式が開催されました。

年度が替わりまして、4月1日、市の新規採用職員等の辞令交付式及び年度始め式が開催され、新しいスタッフによる令和7年度の業務がスタートとなりました。

また、同じく4月1日、5名の新任校長を迎え、第1回の校長会議を行い、心構え等について話をさせていただきました。

4月2日、委員の皆様にも参加をしていただきまして、令和7年度山武市教職員等合同着任式が開催されました。当日は市長、副市長に御臨席をいただき、約70名の教職員が参加をいたしました。

4月6日、成東東金食虫植物群落を守る会の総会が開催されました。この食虫植物群落は日本で最初に指定された天然記念物でありまして、守る会は、これまでの30年にわたる保護活動、案内活動等が広く認められ、昨年、千葉日報社から表彰を受けております。総会では6年度の報告、7年度の計画等が話し合われました。

4月10日、11日、市内の小・中学校入学式が開催され、委員の皆様にも参加していただきました。これで各学校、全学年の児童・生徒がそろいました。

4月12日、市の青少年相談員連絡協議会の総会が開催され、新たに第22期青少年相談員52名による活動がスタートいたしました。

4月14日、県教育委員会の主催により、東上総地域の市町村教育長会議が開催され、6年度末の教職員人事異動の報告や7年度

の予定等について説明がありました。
そのほか、表に記載のとおりでございます。
何か質問等ございますでしょうか。
よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

続いて、本日の議題について申し上げます。

本日は、議決事項として、議案第1号から第10号の10件、協議事項として、協議第1号の1件、報告事項として、報告第1号から第9号の9件となります。

◎日程第4 議決事項

- 議案第1号
- 議案第2号
- 議案第3号
- 議案第4号
- 議案第5号
- 議案第6号

教育長

それでは、日程第4、議決事項に入ります。

まず、議案第1号から第6号についてですけれども、全て学校運営協議会委員の任命に係る議案でございますので、関連した内容であることから、事務局から一括で提案理由の説明をお願いいたします。

子ども教育課長。

子ども教育課長

議案第1号から議案第6号は学校運営協議会を設置する日向小学校、睦岡小学校、山武北小学校、松尾小学校、山武中学校、山武望洋中学校の委員の任期満了に伴い、新たに委員の認定を求めるものです。6校分を一括して御覧いただき、学校ごとに議決をお願いいたします。資料は2ページから8ページです。

学校運営協議会で、委員は学校運営の基本方針の承認、学校運営について意見を述べる、教職員の任用に関して意見を述べるなどして、学校運営の基本方針を共有したり、地域と学校の協働活動へつなげたり、学校の特色づくりを進めたりします。そのために、資料8ページの山武市学校運営協議会の設置等に関する規則第3条2(1)から(8)に示されているような方が求められます。

任期は令和7年6月1日から令和8年5月31日までです。
委員は再任されることができます。
6校それぞれの委員の任命について、よろしく願いましたます。

教育長   それでは、委員の皆様、議案第1号から第6号までについて、一括で質問等がありましたら、お願いします。
よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長   私から1点。
これは規則の第3条の2項の先ほど説明のあった8項目ですけれども、(1)から(8)まで全部該当者が入っていないといけないということになりますか。
子ども教育課長。

子ども教育課長   県の教育委員会等にも確認してありますが、QA等で示されているとおり、全てを網羅する必要はないとされています。
ただ、いずれの立場の方も構成メンバーとして欠かせないと思われまますので、学校の実情に合わせて、多様な立場の方が任命されることが望ましいと考えております。

教育長   ありがとうございます。
ちなみに、今回は全部入っているということによろしいですか。
子ども教育課長。

子ども教育課長   睦岡小学校で3号の方がおりません。

教育長   いらっしゃらない。

子ども教育課長   はい。

教育長   でも、条例・規則等に反するものではないということですね。

子ども教育課長   はい。

教育長   そのほか、よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長

それでは、議案ごとに採決をさせていただきます。

まず、議案第1号、山武市立日向小学校学校運営協議会委員の任命についてお諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第2号、山武市立睦岡小学校学校運営協議会委員の任命についてお諮りいたします。

本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第3号、山武市立山武北小学校学校運営協議会委員の任命についてお諮りいたします。

本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第4号、山武市立松尾小学校学校運営協議会委員の任命についてお諮りいたします。

本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第5号、山武市立山武中学校学校運営協議会委員の任命についてお諮りいたします。

本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第6号、山武市立山武望洋中学校学校運営協議会委員の任命についてお諮りいたします。

本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長 挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

○議案第7号

教育長 次に、議案第7号です。山武市社会教育委員の委嘱についてを議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

生涯学習課長。

生涯学習課長 それでは、議案第7号、山武市社会教育委員の委嘱について御説明をさせていただきます。資料9ページを御覧ください。

4月の人事異動により、社会教育委員2名に変更が生じたため、資料記載の2名について委嘱をお願いするものです。

委嘱期間は令和7年4月17日から令和8年3月31日までです。

説明は以上です。よろしくお願ひいたします。

教育長 ただいまの説明に質問等がございましたらお願いします。
よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長 それでは、お諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

教育長 挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

○議案第8号

教育長 次に、議案第8号、山武市スポーツ推進審議会委員の任命についてです。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

スポーツ振興課長。

スポーツ振興課長 続きまして、議案第8号、山武市スポーツ推進審議会委員の任命について審議をお願いするものでございます。

こちら、提案理由といたしましては、山武市スポーツ推進審議会委員の退職に伴いまして、山武市スポーツ推進審議会条例第5条の規定により、新たに委員を任命するものでございます。

なお、任命の期間につきましては、令和7年4月17日から令和7年12月20日までといたすところでございます。

こちらの内容については、説明以上でございます。よろしくお願いいたします。

教育長 ただいまの説明に対して、質問等がございましたらお願いします。
木島委員。

木島委員 これは、任命の期間が7年の12月20日というのは半端かなと思いますが、全員この任期でしょうか。

教育長 スポーツ振興課長。

スポーツ振興課長 こちらの任期につきましては、ほかの委員さんと同様になっておりますので、よろしくお願いいたします。

教育長 よろしいですか。

木島委員 はい。

教育長 そのほか、質問等ございますか。
よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長 それでは、お諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

教育長 挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

○議案第9号

教育長 続いて、議案第9号、山武市文化会館運営協議会委員の委嘱についてです。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

文化会館長。

文化会館長

議案第9号、山武市文化会館運営協議会の委嘱について説明いたします。資料は11ページになります。

山武市文化会館運営協議会の人事異動に伴い、校長会より推薦をいただきました睦岡小学校長、竹内秀樹さんを新たに委員に委嘱するものです。

任期は令和7年4月17日から令和8年3月31日までとなります。以上、よろしく願いいたします。

教育長

それでは、ただいまの説明に対して、質問等ございましたら、お願いします。

よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

それでは、お諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

○議案第10号

教育長

次に、議案第10号、山武市図書館協議会委員の任命についてです。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

図書館長。

図書館長

議案第10号、山武市図書館協議会委員の任命について説明いたします。資料は12ページです。

こちらは、委員の人事異動があったため、校長会で新たに推薦をいただいたものです。

平山裕治さんは緑海小学校の校長、大津昌利さんは成東東中学校の校長です。

任期は令和7年4月17日から令和8年3月31日までで、前委員の残任期間となります。

説明は以上です。よろしく願いいたします。

教育長

それでは、ただいまの説明に対して質問等ございましたらお願いします。

よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

それでは、お諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

挙手全員です。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

◎日程第5 協議事項

○協議第1号

教育長

それでは、日程第5、協議事項に入ります。

協議第1号、山武市立図書館規模適正化計画についてです。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

生涯学習課長。

生涯学習課長

それでは、協議第1号、山武市立図書館規模適正化計画について説明をさせていただきます。資料の13ページを御覧ください。

最初に、素案の策定に当たりまして、提案理由と計画策定の趣旨を御説明いたします。

別途資料の山武市立図書館規模適正化計画(素案)の1ページを御覧ください。御承知のとおり、山武市では、合併依頼、旧3町で整備した図書館3館を維持してきました。図書館は第3次山武市総合計画の基本構想における、市民が暮らしやすく住み続けられる環境や、市外の方が魅力に思い、訪れ、住まう価値の創造に寄与する一方、少子・高齢化による人口減少が進行する本市においては、市民の安心・安全を確保しながら、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めることも必要となっています。

そうした状況の中、令和5年5月には、山武市社会教育委員に対し、図書館を含めた社会教育施設の在り方について諮問し、将来的には、情報取得に便利な図書館となるよう、情報資産の集中・一元化を図るため、施設の統合・拡充を進める方向でよいと考えるとの答申をいただいたところです。

本計画は、経営戦略的な視点において、図書館の機能を十全に維持しながら、人口減少社会を見据えた適正規模での運営を目指すことを目的としており、教育委員会として、具体的な方向性を示すため、計画全般にわたって委員の意見を求めるものでござい

ます。委員の皆様の慎重な審議と御意見を賜りますよう、お願いいたします。

続きまして、図書館長の大石より、図書館の現状について御説明をさせていただきます。

教育長

図書館長。

図書館長

図書館長の大石です。よろしくお願ひいたします。私からは図書館の現状について御説明いたします。

以前、総合教育会議で生涯学習課長から説明いたしました内容と重複する部分がありますので、かいつまんで説明いたします。

2ページを御覧ください。

近隣の合併市のうち、複数の図書館を運営しているのは山武市と香取市の2市だけであり、ほかの合併市では1館の図書館と図書室もしくは図書コーナーを公民館等に設けるという運営がされています。

続きまして、3ページ、②の運営状況を御覧ください。

近隣市との比較ですが、八街市、富里市の図書館では、年間で市民1人あたりに換算すると2回ないし3回程度の利用があります。山武市の図書館全体では28万4,164冊の貸出があり、市民1人あたりでは5.87冊となります。県平均4.40冊や近隣市の冊数を超えておりますが、それぞれの館の貸出冊数を市の人口で割りますと、市民1人あたりの貸出冊数は資料の数値となります。このことにより、利用者が分散している状況が分かります。

次に、4ページを御覧ください。山武市の図書館を、人件費、その中でも会計年度任用職員に係る経費が大きくなっております。

少しページを飛ばしまして、8ページを御覧ください。

集約先を検討するに当たって、改めて山武市の図書館の状況を御確認いただきたいと思います。最も古い成東図書館については、建築から約30年近くが経過しているものの、構造は鉄筋コンクリート造であり、適切に維持管理を行えば、今後30年以上の利用が可能になります。

9ページは各図書館の利用状況です。学校等の団体利用を除く個人での時間帯別利用状況です。

次に、10ページを御覧ください。同じく学校等の団体利用を除く個人での時間帯別貸出冊数です。来館者数、貸出冊数、いずれも成東図書館1館で、全体の約半数となっております。

以上が集約先を検討するに当たっての図書館の現状となります。

教育長

教育総務課長。

教育総務課長

続きまして、私からは、集約化の方針及び今後の進め方について説明をいたします。

ページ戻っていただきまして、5ページを御覧ください。

ここでは、山武市における図書館の適正規模を考察しております。

山武市立図書館の施設数など、適正規模を直接規定している法律はございませんけれども、維持管理費を考える上では、地方交付税における単位費用という数値が一つの基準となります。図書館は人口を基準としておりまして、標準団体におきまして、10万人で1館、人件費を含む維持管理費は8,650万7,000円となります。山武市は人口が4万8,444人なので、図書館数はそれに換算しますと0.484館となりまして、本来はゼロ館となりますけれども、ここでは切り上げまして、1館といたします。

また、標準的な維持管理費は4,186万7,000円となります。

次のページ、6ページの表を御覧ください。令和5年度の決算額と国が想定する標準的な費用の差は、図書館システム導入費に係る経費を除いたといたしましても、人件費、その他維持管理費の合計で、括弧の中ですね、9,933万5,000円となります。また、山武市の人口は、2050年には2万7,000人程度になることが想定されておりまして、その場合の適正規模を考察したものが、次のページの7ページとなります。

平成24年12月に国から示された資料によりますと、人口3万人までの市町村における適正規模は、図書館数が1.4館、図書館の占有延床面積が1,850.1平方メートル、自動車図書館数が0.3台、蔵書冊数が15万3,589.5冊とされております。また、これを前提としました場合、仮に成東図書館に集約した場合の不足収容能力は、下の表になりますね。参考のところ、7万4,000冊となります。

ページはちょっと飛びまして、12ページを御覧ください。

(3) 集約の基本的な方針となります。

図書館の整備は、全ての市民へ適正な図書館サービスをつなげるための仕組みづくりと捉えまして、人と資料を集約することといたします。

また、集約化に際しましては、利用者数、貸出冊数と併せまして、地域ごとの人口推計や市の財政状況も考慮しまして、新規の施設建設は行わず、今ある既存の建物を改修して活用することといたします。

(4)の集約の方法についてですが、教育委員会といたしましては、2027年度を目途として、来館者が最も多い成東図書館に集約していくことを第1案として考えております。ただし、いずれの図書館も収容能力の不足のため施設改修等が必要になることから、今後、行財政改革等により施設の在り方の検討される、ほかの社会体育施設や学校施設等への移転も視野に入れながら検討することといたします。

また、下段に集約化までの工程をロードマップとしてお示ししてございます。

今後につきましては、本日いただいた質問や御意見を生かしまして、必要があれば修正を加えて、案として整えまして、次回定例会において、修正後の案とともに、これから行われます社会教育委員会議の諮問書(案)をお諮りする予定でおります。

その後、社会教育委員会議への諮問、図書館協議会への意見の照会、その後、パブリック・コメントを経まして、最終案として、再度、教育委員会議でお諮りいたします。最終的には9月の議会で説明を行い、成案とする予定でございます。

最後に13ページを御覧ください。

集約化した後も、図書館機能を維持する方策といたしまして、現在は行っておりませんが、移動図書館の導入などを検討してまいりたいと思っております。移動図書館は、市の地域の広い本市においても、図書館から遠い地域にお住まいの方ですね。高齢者も含みますけれども、その方や移動手段がなく、図書館に来ることがちょっと難しい方に図書館サービスを利用させていただくために、この移動図書館というのは有効な手段であると考えております。

私からの説明は以上となります。よろしく願いいたします。

教育長 事務局の説明はこれでよろしいですか。

教育総務課長 はい。

教育長 それでは、委員の皆様から質問、御意見等ありましたら頂戴し

ます。よろしく申し上げます。

木島委員。

木島委員

今、事務局のほうから、細かい説明をお聞きしましたが、山武市としては、適正規模での運営を目指すために、具体的な方向性を示すという中で、今、3館ある図書館ですけれども、これの集約を検討していかなければいけないと強く感じたところです。

そこで、12ページの集約化ロードマップのほうで、令和9年度を目途に1館体制に持っていくというふうに予定のほうは出ておりますけれども、今年度から3年間ですよね。非常に短い期間だと思いますけど、3年間で集約となると、いわゆる準備でありますとか、そういった諸々の時間が非常にタイトになるんじゃないか、併せて予算のほうも含めまして、スケジュールを、実際に間に合うかどうか、お聞きしたいと思います。よろしく申し上げます。

教育長

教育総務課長。

教育総務課長

御質問ありがとうございます。また、この計画の承認後に準備に着手しまして、その後、9月を目途に予定しているんですが、予算要求、条例改正ですとか、施設改修工事等の移転作業を行っていきますので、木島委員のおっしゃるとおり、2年、3年という準備期間については、大変厳しいスケジュールであると認識しております。

一方、少子・高齢化による人口減少が進行する山武市におきましても、市民の安心・安全を確保しながら、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくことが必要だと思っております。山武市のほうでも、今、行財政改革は待ったなしの状況になっております。

なお、成東白幡にございます老人福祉センターとマザーズホームですね。そういったものについても老朽化が進んでおまして、早急に移転する必要がございます。図書館の集約後に空き施設を活用することが市全体の施設の運営上有効であると考えております。

このような状況から、今後、市全体の施設の計画の中で調整を行っていきますので、新しい図書館のオープンの時期としては、今のところ、3年という形になってはいますが、多少の前後はあり

得るものと今のところは考えております。
以上となります。

教育長 木島委員、よろしいでしょうか。

木島委員 はい、分かりました。

教育長 そのほかございますか。
伊藤委員。

伊藤委員 集約化の方法についてですが、12ページには、来館者が最も多い成東図書館に集約していくことを第1案とするとありますが、現時点では、ほかの選択肢、例えば、さんぶの森とか、あと松尾図書館への集約や、これは難しいと思いますが新たに建設する、そういったこと等は検討されているのでしょうか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 御質問ありがとうございます。令和3年の3月に、市の将来の財政状況等を勘案して策定されました山武市の公共施設個別施設計画というのがございまして、こちらのほうに図書館については既存の施設を活用して集約する方針が、現在、示されております。
伊藤委員のほうから質問のございました、新たに施設を建設するということは現在の時点では考えてございませんが、教育委員会といたしましては、利用者の貸出数の多い成東図書館に集約することを、今のところ第1案としておりまして、ほかにあるさんぶの森図書館ですとか松尾図書館含めた社会教育施設や学校の施設の選択肢も排除せずに、検討したいと考えまして、本素案を策定しております。
以上です。

教育長 伊藤委員、よろしいですか。

伊藤委員 はい。

教育長 そのほか、ございますか。
相葉委員。

相葉委員 教育委員会では、令和2年11月に市長に対して社会教育施設の申入れをしております。図書館については将来的には施設の統合・拡充を進める方向で検討するとしています。現在、山武市の人口も5万人を切って、17ページの資料にあるように、2030年、4万人、2050年で2万2,000人になるとの推計です。このことから、図書館の統合・集約はやむを得ない状況だと思います。

資料13ページにあるような移動図書館、本市にとって、どのような図書館が望ましいかを検討して、集約した上で、サービスの充実を図っていただきたいと思います。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 貴重な御意見ありがとうございます。

相葉委員のほうから御意見としていただきましたとおり、人口減少も歯止めが効かない状態となっております。図書館の集約化は、やむを得ないということで御意見いただきました。

本市にとっても、相葉委員がおっしゃったように、集約した上でサービスの充実を図っていくような形で行っていききたいと思います。

教育長 そのほか、よろしいですか。

鈴木委員。

鈴木委員 資料2ページ、3ページを見ますと、蔵書数と市民1人当たりの貸出数は一定の相関関係があるように思います。山武市立図書館は現在3館合計で30万冊の資源がありますので、集約後も可能な限りこれを生かして、多くの人が集まる、魅力ある図書館にしていきたいと思います。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 今、鈴木委員のほうから御意見いただきました。ありがとうございます。

確かに、今の3館を合計しますと30万冊の本がありますが、7ページのほうに参考で、3万人までは、一応、蔵書数は15万という形となっておりますので、可能な限り、こちらの本を生かしま

して、魅力ある図書館のほうにしていきたいと考えております。
御意見ありがとうございます。

教育長   そのほか、よろしいですか。
                              北田委員。

北田委員   意見ですけれども、資料8ページにありますように、現在は3館が、それぞれの特色ある運営をされており、魅力的な図書館となっています。また、従来型の静かな図書館のほかにも、子供と一緒に楽しめる図書館といった考え方もあるかと思えます。集約化においても、これまで各館で培ったノウハウを生かして、大人にとっても、それから子供たちにとっても魅力的な図書館になるようにしていただきたいと思えます。
                              以上です。

教育長   教育総務課長。

教育総務課長   北田委員、御意見ありがとうございます。
                              確かに今、成東図書館、さんぶの森図書館、松尾図書館のほうで、それぞれ特色ある活動を行っておりますので、3館から1館に集約した中でも、現在行っております図書館の特色をなるべく生かした上で、新しい図書館のほうに集約という形を取っていきたいと思えます。

教育長   そのほか、いかがですか。
                              伊藤委員。

伊藤委員   質問1つと、お願いが1つあります。
                              質問1つは、仮に1つの図書館のところに集約するとなった場合、30万冊ある本を、その1つの図書館に全部入れるということは不可能だと思いますが、先ほどおっしゃったように、いろいろな施設に分けるということであります。成東は既に10万冊ありますね。通路なんかも、もうこれ以上狭くすることはできないような気がします。だから蔵書を増やすことはちょっと難しいなと思えますが、残りの20万冊を、ほかの施設に分けたとして、入り切るのかという質問です。

教育長 図書館長。

図書館長 では、私のほうから回答させていただきます。
確かに約30万冊の蔵書というのは魅力ですが、まだ、今の段階で3館とも同じ本を持っていたりすることか結構ございます。そして、資料としては、取っておいたら取っておいたほうが良いとは思いますが、例えば昔の”るるぶ”のような、資料としての価値が低くなった本もでございます。ですので、こちらに示された数字もでございますが、委員さんのおっしゃったように、なるべくの本は確保したい、努力をしていきたいとは思っていますが、一定量の除籍は必要になるかと思えます。

その上で、まだ成東が第1案というふうに教育総務課長が申し上げたと思えますけれども、そのほかに、もう少し使えるところがないかなというところも含めまして、教育総務課を含め今後の在り方の会議で今検討しているところです。御意見ありがたく頂戴いたしまして、前向きな方向で、なるべく頑張りたいと思っております。

以上です。

教育長 伊藤委員、よろしいですか。

伊藤委員 はい。ありがとうございました。

教育長 では、質問はそれでいいということで、続いてお願いのほうについてはいかがですか。

伊藤委員 各学校へ図書を配布していますよね。この人数も、そういう配布する方も少なくなると思いますが、子供たちは、これをすごく楽しみに待っています。ですので、学校への配布というのは、ぜひ続けていただきたいなと思っているところです。

以上です。

教育長 これは何か回答ありますか。特に聞いておけばよろしいかな。
図書館長。

図書館長 サービスについて、御意見いただきありがとうございます。
実はこれは、やはり会計年度任用職員の負担が大きいということ

ころが、今回の集約化の一つになりますので、実はかなり人手が必要です。私としましては、学校のほうに配送は喜んでいただいているという自負もございますし、また、実は、授業に必要なものを、と言われますと、次の日から二、三日中には授業に使える本をぱっとお届けできるような体制に今はなっています。ですから、なるべく継続したいとは思っていますが、ただ、全体を考えましたときに、財政的などころも大きくなりますし、恐らく集約後の職員数は減ると思います。お約束はできない状況ですが、こちらなるべく前向きな方向で努力はしたいと思っております。はっきりしない回答で申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。

教育長 伊藤委員、よろしいですか。

伊藤委員 はい。よろしく申し上げます。

教育長 そのほか、いかがですか。
鈴木委員。

鈴木委員 もし、さんぶの森の図書館がなくなった場合、さんぶの森図書館で本を借りていた、自転車で行っていた御高齢の方や、車に乗れない方が、集約された、例えば成東図書館に行っても本が借りられるような交通手段が何かあったらいいなと思います。

教育長 いかがでしょうか。
教育総務課長。

教育総務課長 先ほど私からも御説明させていただきましたが、移動図書館ですね。そういった、今ある、例えば公共交通でさんバスが走っていると思うんですけど、鈴木委員がおっしゃったのは、多分そういったイメージかと思います。今のところはそういったものも視野に入れつつ、どの場所がいいか等、地域の方から伺って、移動図書館を始めたかどうかということで、こちらの計画の中に入れておりますので、そういった公共交通機関も含めた中で、併せて検討していきたいと考えております。

鈴木委員 よろしく申し上げます。

教育長 鈴木委員、よろしいですか。

鈴木委員 はい。

教育長 そのほか、ございますか。
よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長 それでは、今回の会議で、委員からたくさん質問、意見が出ておりました。事務局のほうは、そこで必要があれば、見直しの必要があるところがもしあれば見直していただいて、財政的な面の話も先ほどから随分ありましたけれども、図書館の目的というのがありますので、それを達成できるように、図書館長もいろいろアイデアをお持ちでしょうから、既成の図書館にとらわれない、何か新しい試みがあるとありがたいなと思います。ぜひ、いろいろな検討をしていただいて、いい計画をつくっていただきたいと思っています。

次回の会議に、今度、案の形で提案をいただきたいと思っています。よろしくをお願いします。

じゃあ、協議はここでよろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長 では、先に進みます。

◎日程第6 報告事項

○報告第1号

教育長 日程第6、報告事項に入ります。

報告第1号、代理の報告について（山武市子どもの居場所づくり事業実施要綱の制定について）です。

事務局から報告をお願いします。

子ども教育課長。

子ども教育課長 報告第1号です。この報告は山武市子ども居場所づくり事業実施要綱の制定について、代理し、処理したので報告するものです。資料14ページを御覧ください。

本事業は、不登校児童・生徒の支援や子供たちが安心して過ご

せる居場所及び放課後における子供の活動機会の確保を目的とするものです。

要綱の主な規定として、その対象者、事業内容、実施場所、利用料等について、記載のとおり定めております。

実施場所としては、さんむわくわく館の建物で主に不登校ぎみのお子さんを支援することを目的に行うものです。

対象者は福祉との絡みで、ゼロ歳から18歳に達する日以前と書いてありますけれども、主に小・中学生を想定しております。

また、利用料の徴収については、それを徴収することにそぐわない事業であるため、無料としております。

以上です。

教育長

それでは、ただいまの報告に対する質問等ございましたら、お願いします。

よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

じゃあ、私から1点。

広域行政組合のハートフルさんぶとのすみ分けとか、そういうのはどういうふうになっていますか。

子ども教育課長。

子ども教育課長

さんむわくわく館の建物の1つ奥に、広域行政組合が行っていた不登校のお子さんの面倒を見ているハートフルさんぶ教室というのがございまして、その建物の老朽化に伴い、広域行政組合のその事業をさんむわくわく館の建物で月曜から金曜まで、昼過ぎまで行うことになっております。

そして、これまでわくわく館を利用していたお子さん、週3日、来ておりましたので、その1週間のうち、月、水、金については広域行政組合の事業が終わった後に、引き続き本市のお子様を面倒見る事業を行うものです。

以上です。

教育長

本市の大きな課題の一つでありますので、ぜひ、担当課としても、力を入れていただけるとありがたいと思いますけれども、委員さん、よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

それでは、先に進みたいと思います。

○報告第2号

教育長

報告第2号、代理の報告について（学校歯科医の委嘱について）です。

事務局から報告をお願いします。

子ども教育課長。

子ども教育課長

報告第2号です。

この報告は学校歯科医の委嘱について、代理し、処理したので報告するものです。

資料16ページを御覧ください。

大平小学校の学校歯科医、小西先生の辞任に伴い、後任の学校歯科医を堀角達朗歯科医師に委嘱をしました。

報告、以上です。

教育長

それでは、御質問等ございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長

それでは、次に進みます。

○報告第3号

教育長

報告第3号、代理の報告について（山武市いじめ問題対策連絡協議会委員及び山武市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について）です。

事務局から報告をお願いします。

子ども教育課長。

子ども教育課長

報告第3号です。

この報告は、山武市いじめ対策連絡協議会及び山武市いじめ対策委員会委員の委嘱について、代理し、処理したので報告するものです。

資料は17ページから18ページにかけてです。

令和7年第3回の定例会で本件について議決をいただきました際、資料17ページから18ページにかけての表のうち、赤字で示し

○報告第5号

教育長 報告第5号、令和7年度第2期山武市教育振興基本計画に係る実施計画についてです。

事務局から報告をお願いします。

教育総務課長。

教育総務課長 報告第5号につきましては、別冊と資料①基本計画の実施計画編と、別冊の資料②予定事業一覧表の2つを用いて説明をいたしたいと思います。

教育長 教育総務課長、少々お待ちください。はい、開きました。

教育総務課長 御準備よろしいでしょうか。では、説明いたします。

初めに、基本計画の実施計画編の1ページを御覧ください。第1章の実施計画の概要になります。こちらを御覧いただけますでしょうか。

この2番の期間にありますように、今回の計画は令和7年度から9年度までの3か年となります。その間、毎年、事業の見直しを行いながら進めていくものでございます。

実施計画の位置づけにつきましては、中段の構成の表にありますように、教育振興基本計画は4つの施策を柱としております。左の目次を御覧いただきますと、施策1、学校教育の充実、施策の2、生涯学習の推進、施策の3、スポーツの振興、施策の4、子育て支援の4つとなります。これを柱といたしまして、教育委員会全体では約300の事務事業がございます。

その中におきまして、教育振興基本計画を実現するために重要な事業といたしまして、今回、35の事業を選定いたしました。その選定基準は下段の4番目、実施計画事業の選定基準にあるとおりでございます。

では、附属資料の②、予定事業一覧表のほうを御覧いただけますでしょうか。

そちらの表紙の中の一番左にあるのが35事業です。番号が振ってあるかと思いますが、この表の左から実施事業名、所属、市の第3次総合計画、また教育振興計画での施策、以下、右側のほうについては選定の基準となっております。

今回選定しました35事業のうち、新規事業についてのみ説明さ

させていただきます。

新規事業は今回4つございます。No.9、小学校情報機器整備事業と次のNo.10、中学校情報機器整備事業です。こちらは文科省が進めますGIGAスクール構想で、児童1人に対して1台のタブレット端末、小・中学校の通信ネットワークの整備を進めてきましたけれども、5年が経過しまして、端末・環境の更新を図るものでございます。こちらの事業が、このNo.9とNo.10になります。

次に、新規事業でNo.17、さんぶの森中央会館等施設改修事業です。

こちらはさんぶの森中央会館の施設の老朽化に伴いまして、施設の維持管理における改修工事を実施いたします。

今年度、令和7年度は中央会館の周りの古くなりました街路灯を撤去いたしまして、新しい街路灯を設置する工事と、もう一つ、駐車場の舗装改修工事の測量業務委託の事業になります。

最後に、No.23、歴史民俗資料館の改修事業となります。資料館から屋外トイレの入口、庇扉等の工事となります。資料館の来館者が、雨が降ったときに傘を差して外のトイレに行く不便さを解消しまして、安心して使用しやすく環境整備を整えるものとなっております。

今回、新規事業は以上の4つとなります。ほかの事業については昨年と同様の事業となっております。

説明については以上となります。よろしく願いいたします。

教育長

それでは、ただいまの報告に対して、質問等ございましたら、お願いします。

よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

それでは、次に進みます。

○報告第6号

教育長

報告第6号、令和7年度の園児・児童・生徒数についてです。事務局から報告をお願いします。
子ども教育課長。

子ども教育課長

報告第6号、令和7年度園児・児童・生徒数についてです。資料は21ページを御覧ください。

一番上、幼稚園・こども園については子育て支援課から資料提供を受けております。

小学校につきましては、学校によって増減はあるのですが、全体としては児童数18名減、学級数1学級減です。

市内中学校全体では、生徒数64名減、学級数4学級減です。説明は以上です。

教育長   それでは、ただいまの報告に対して、質問等ございますでしょうか。

じゃあ、私から1点。

外国籍というか、外国にルーツを持つ児童・生徒数について、前に聞いたかもしれませんが、概数で結構ですので、何人でしょうか。

子ども教育課長。

子ども教育課長   4月1日現在で85名と把握しております。

教育長   小・中。

子ども教育課長   はい。小・中合わせて85です。

国籍につきましては、スリランカが一番多く、その他、ベトナム、中国、フィリピン等のお子さんが在籍しております。

教育長   ということは、児童・生徒数が減っていますので、ほぼ同じということであれば、割合は当然高くなっているということになりますね。

子ども教育課長   はい。

教育長   対応のほう、ぜひよろしく願いいたします。

そのほか、よろしいでしょうか。

北田委員。

北田委員   前に資料で提示されたかもしれませんが、小学校は前年と比べて、ほぼ現状維持、それから中学校のほうが、学級数でいうと4学級の減ということですが、この傾向は、今後、同じような傾向をたどるのでしょうか。

今、分かっている範囲で結構です。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 少々お待ちいただけますでしょうか。これからの児童・生徒の推移ということですよ。

北田委員 そう。推移。

教育総務課長 少々お待ちいただけますでしょうか。
申し訳ありません。調べて、後ほど回答します。

教育長 そのほか、ございますか。よろしいでしょうか。
伊藤委員。

伊藤委員 日向小学校の1年生が31名で学級数2、松尾小の1年生が32で学級数1というのは、情緒とか知的とかの子供たちが、ここに関係しているのでしょうか。

教育長 子ども教育課長。

子ども教育課長 特別支援学級のお子さんは、この数には含まれておりません。各学校の判断で弾力的な運用を行うことができますので、配置されている職員を使って、日向小さんは2クラスにしたいということです。
以上です。

教育長 ということは、専科等、その他の教員が減るということであると思いますが、委員、よろしいですか。

伊藤委員 分かりました。
以前ですけど、低学年は何人になったら2クラスになるとか、そういう決まりがあったような気がします。今はそういうのは特になんのですか。

教育長 子ども教育課長。

子ども教育課長 決まりとしては、35が上限ですので、35名までは1クラスが普通の、通常の編成の在り方です。

伊藤委員 それは低学年ですか？

教育長 子ども教育課長。

子ども教育課長 35定員が段階的に増えてきておりまして、今、小学校については全て35になっております。

伊藤委員 そうですか。学校の裁量でそれを変えることができるということでしょうか。

教育長 子ども教育課長。

子ども教育課長 学級担任として配当されている職員以外を活用して行うことができますので、そうすると、逆に言えば学級担任以外の教員の数が減るということになります。

教育長 よろしいでしょうか。

伊藤委員 はい。分かりました。ありがとうございます。

教育長 そのほか、ございますか。
よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長 それでは、先に進みます。

○報告第7号

教育長 報告第7号、令和7年度山武市小中学校少人数指導講師・心の教室相談員・支援員の配置についてです。
事務局から報告をお願いします。
子ども教育課長。

子ども教育課長 報告第7号、山武市小中学校少人数指導講師・心の教室相談員・支援員の配置について御報告いたします。資料は22ページを

御覧ください。

表に示したとおり、市で雇用している職員の配置をしております。

教育支援員については水色のところ、欠員3名おりますが、これは令和7年度は令和6年度よりも採用枠を4名増やしましたので、前年度の同時期と比べると1名増員とはなっております。ただ、欠員については、現在、再募集をしているところですので、今後、適切な人材の配置を努めてまいります。

報告は以上です。

教育長

質問等ございますか。

よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

それでは、先に進みます。

○報告第8号

教育長

報告第8号、令和7年度東上総教育事務所の学校訪問についてです。

報告をお願いします。

子ども教育課長。

子ども教育課長

報告第8号、令和7年度東上総教育事務所の学校訪問についてです。資料の23ページを御覧ください。

上段の表は学校順、下段の表は日付順に並び替えてあります。

千葉県教育長、東上総教育事務所訪問とは、県教育委員会東上総教育事務所の所員の方に市内小・中学校を訪問いただき、施設の管理状況、学校職員の管理や教員の児童・生徒に対する指導の状況について御指導をいただくものです。

訪問の際には、本市教育委員会職員も同行し、共に学校の状況、管理の状況を把握し、改善すべきところは指導してまいる予定になっております。

説明は以上です。

教育長

質問等ございますでしょうか。

では、私のほうから。

質問じゃないですけど、本来、市教委がやるべき業務を、県教

育委員会に担ってもらっているということが大いにありますので、担当課として、市教委としての役割を十分果たせるように、ぜひ同行したときの業務を考えながら行っていただければと思います。では、先に進みます。

○報告第9号

教育長

報告第9号、令和7年5月の行事予定についてです。

行事予定については、資料を事前に御確認いただいていることから、事務局からの説明は割愛させていただきます。

質問等ありましたら、お願いします。

生涯学習課長。

生涯学習課長

修正のほうをお願いしたいと思います。

5月の予定の14日水曜日に予定をいたしました第1回の社会教育委員会議でございますが、急遽16日金曜日に変更となりましたので、御報告をさせていただきます。

教育長

ありがとうございます。14日の社会教育委員会議、16に変更ということです。

そのほか、何かありますでしょうか。

教育総務課長。

教育総務課長

先ほど北田委員から御質問のありました今後の児童・生徒数の推移ですが、6年度の山武市学校のあり方検討委員会会議の際に使用しました昨年の5月1日現在の児童・生徒数で、今つかんでいる数字がそこではございませんので、そちらのほうで御報告させていただきたいと思います。

先ほど子ども教育課からありました報告は、特別支援学級を別にした学級数になっており、こちらの学校のあり方検討委員会では、全児童・生徒数で、特別支援学級は含んでいないものですので、学級数については数が違ってしまいますので、児童・生徒数だけ御報告させていただきます。

小学校に関しましては、今つかんでいるのが令和12年までの児童数の推移が出ておりまして、8年度ですと、この表ですと7年度が1,642名ということですが、8年度になると1,558、9年度だと1,486、10年度だと1,394、11年度が1,300人、12年度だと1,200人という形で、だんだん減ってきております。1,600から令和12

年には1,200人になるという推移でございます。

中学校に関しましては令和18年度まで推移が出ておりまして、7年度、901名が8年度だと890、9年が858、10年、890、11年、840、5年後には令和12年度800人、13年が753ですね。令和18年になると530人という形で、中学校も1クラスの学校が山武中だとか望洋中ですね。今、成東中よりも東中の生徒数のほうが多いですが、8年になると少なくなって、そこからずっと東中の生徒数が少なくなってきます。というような形で、中学校も500人前後になって、18年、あと10年後ぐらいにはという推移になっております。

以上となります。

北田委員 ありがとうございます。

教育長 では、そのほかの委員からございますでしょうか。事務局から、そのほかございますか。よろしいですか。

北田委員 なかったら、そのほかのことでいいですか。

教育長 いいです。

北田委員 では一つ、子ども教育課に質問ですが、4月2日の日に教職員の合同着任式が行われましたよね。それでお聞きしたいのは、令和7年度の新規採用学校職員、その数を教えていただきたいのと、令和6年度、前年度、新規採用職員の中で、退職した人が山武市ではどれくらいいたのか、あるいはいなかったのか、教えていただきたいです。

教育長 子ども教育課長。

子ども教育課長 令和6年度に係る人については1名。

教育長 それは退職が1名ということですか。

子ども教育課長 はい。退職が1名。

教育長 新規採用は何人ぐらいいますか。

子ども教育課長   それでは、数が今把握できませんので、また報告いたします。

教育長   退職者だけは1名ということ。

子ども教育課長   はい。退職者は1名です。

教育長   北田委員。

北田委員   令和7年度の新規採用は、たしか、小・中合わせて14名です。

教育長   子ども教育課長。

子ども教育課長   はい。おっしゃるとおりで、小・中合わせて14。小・中の内訳は、今はっきり分かりません。

教育長   室長、分かりますか？
指導室長。

指導室長   小学校が8名、中学校が6名です。

教育長   それで14ということですね。

指導室長   はい。

教育長   北田委員。

北田委員   ありがとうございます。

あるアンケートの調査で、こんな結果が出ていたんですね。どんな職場で働きたいかという調査で、1つは明るく楽しい職場、2つ目は、お互いにそこに信頼できる人間関係がある職場というのが出ていました。加えて、いい仲間といいリーダーがいれば、少々つらい仕事でも耐えられるというアンケート調査の結果を目にしたことがあります。そこでお願いしたいのは、管理職の立場の先生方に、いろんな機会を通して、難しい採用試験を突破した新規採用の先生方を育ててほしいということです。

特に年度末、年度始め、卒業式、入学式等に出席させてもらっ

て感じたのは、教員の役目って何だろうかということ、出でて、改めて感じさせられました。やっぱり先生方には、希望を持って、日々の教育活動に当たってもらいたいなということを思いましたので、あえてここで、ぜひいろんな機会を通じて、支援のほうをお願いできればと思います。これは意見です。

教育長   ありがとうございます。非常に大切な意見だと思いますが、何か取組あれば。
子ども教育課長。

子ども教育課長   まず、本市では、教育長による管理職の訪問・面談、また指導室員、主幹による、新規採用者に対する訪問・面談等をなるべく年度始めのところから行おうとしております。また、それぞれ、ほかに行う全体での研修、地域ごとでの研修で、またそのようなことについても触れていきますので、努力してまいります。
以上です。

北田委員   ありがとうございます。よろしくお願ひします。

教育長   丁寧にやっていきたいということですね。
そのほか、ございますでしょうか。
よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長   それでは、以上をもちまして、教育委員会会議令和7年第4回定例会を終了いたします。お疲れさまでした。

◎閉   会   午後3時14分